

2021年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1475001432	事業の開始年月日	平成18年2月1日
		指定年月日	平成18年4月1日
法人名	医療法人 啓和会		
事業所名	グループホーム渡田		
所在地	(210-0837) 神奈川県川崎市川崎区渡田2-7-1		
サービス種別 定員等	■ 認知症対応型共同生活介護	定員計	18名 ユニット数 2 ユニット
自己評価作成日	令和4年1月7日	評価結果 市町村受理日	令和4年5月2日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

母体の医療法人との連携を積極的に推進し、24時間訪問看護体制を実施しています。心身面についてはお散歩・足浴・能訓練を行っています。地域との関わりについては町内で行われている節分祭や盆踊り・運動会等のイベントに積極的に参加しています。（現在はコロナウイルス感染拡大により行えていない）ご家族様との関わりについては事前予約により玄関前または居室で面会する環境を作っております。また、来所時や電話で要望・質問を伺い迅速に対応しています。ご入所者様の毎月の様子を月報という形で担当職員が本人様子をお伝えしています。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵠沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和4年1月27日	評価機関 評価決定日	令和4年3月17日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

JR「川崎」駅よりバスで約10分、「渡田中学入口」バス停より徒歩5分程で、バス通りより一角裏手に位置しています。大型の薬局兼スーパーマーケットや大小の公園がある古くからの住宅街の中にあり、同一法人が運営するグループホームが隣接しています。

<優れている点>

医療法人が運営法人である特色を生かし、医療管理が充実しています。内科、整形外科、歯科医師による訪問診療や訪問看護、訪問マッサージによる健康管理を施行することでリハビリや運動療法を取り入れ、楽しみながら心身の維持向上、健康長寿を目指しています。また、重篤な場合でも地域医療機関とのネットワークにより、24時間の見守りで安心した生活を送ることができます。また、食事作りに時間をかけず、その分利用者と過ごす時間を充実させる目的で配食弁当を採用しています。食事の楽しみとしてオリジナル食の日を設け、利用者の要望に応じた食事を提供しています。ハンバーグ料理などの食事を楽しむこともしています。

<工夫点>

現在では新型コロナウイルス感染症蔓延防止等重点措置のため、面会の代わりに郵送で、毎月1ヶ月の過ごし方や現在の状態を文章にまとめ、写真付きで報告しています。これにより、本人と家族の安心感を保ち、関係性の維持を図っています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	12 ~ 16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	17 ~ 23
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム渡田
ユニット名	1Fすみれ

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えています。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	職員が理念転を念頭においてケアが出来る様にフロア・玄関に掲示しています。	事業所のあり方である「基本理念」と「職員の姿勢」、ユニットごとの利用者に対しての「スローガン」を事業所内に掲示し共有しています。職員は利用者目線で、安らぎのある施設づくりを実践しています。新入職者には説明する機会を設けています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	自治会に参加しているが新型コロナウイルス影響でイベントには参加出来ないが子ども110番登録しています。	地域の情報は掲示板で情報収集しています。地域住民が来訪した際には、入居の流れや、介護に関する事を伝えています。新型コロナウイルスの影響で広い交流はありませんが、移動パン屋が来た際は、近隣住民が一緒になることがあるので、挨拶などで交流を繋げています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域住人と話す機会がある際に介護についての相談をのっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	新型コロナウイルスの為、2か月に1度議事録を町内会・民生委員・地域包括支援センターの職員・ご家族様に郵送し報告し質問等がある場合は連絡して頂く様に伝えています。	現在では新型コロナウイルス感染症蔓延防止措置のため、事業所での開催はせず、すべて郵送でやり取りとしています。報告については質問があれば連絡して貰う様に伝えています。今後は返信用封筒などを活用し、もっと意見を吸い上げられるような検討をしています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	介護保険更新の際には介護保険担当者との連携を取り、生活保護者に関わる事については福祉事務所と連携を図っています。	介護保険課とは、認定調査に関わる連携をとり、福祉事務所は、入居者が、病院受診の際必要となる医療券を発行して貰うことで、連携を取っています。また、別の福祉事務所では新規での入居に関わる利用者の相談も受けています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	年1回自己点検シートを用いて確認しています。内ドアの施錠については全ご家族様には契約時に内ドアの施錠の同意書を頂いています。	身体拘束や虐待、スピーチロックなどについて、ミーティングで職員教育をしています。身体拘束にならないケアについて注意していることを現場でも声を掛け合い、話し合うことで気づきにつなげます。外に出たいなどの要望にも散歩に行き気分転換をするなどの工夫し支援に努めています。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	ユニット会議で職員内で情報交換をし再確認を行う。利用者同士の接し方等職員同士で声掛けし合っている。	虐待防止をするために、職員と個々で話し合い、徹底を図っています。毎年12月に外部研修を受講しています。コロナ禍の今年度はオンラインセミナーで介護事業所で取り組む虐待防止の具体策を学んでいます。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	ご利用者様で成年後見人制度を利用している方がいらっしゃいます。今後に向けて情報提供を行ったり、研修で学んでいく予定です。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時・解約時共にご家族様と面談の上、漏れが無い様に十分な説明を行っています。疑問点はその場で出来る限り解決を図っていきます。その上で契約書への記入・拇印を行っています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に意見箱を設置したりご家族様が来訪時や電話でのご意見・ご要望を頂き真摯に耳を傾け、速やかに対応させて頂いています。	家族から連絡があった時にも、話の中で意見があれば対応に繋げています。現在はコロナ禍により積極的な意見収集は難しい状況となっていますが、今後は家族が運営に関する意見を言いやすくする工夫や方法を検討しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ユニット会議や場合によっては個別面談を実施し職員の意見や提案を聞く機会を設けています。	毎月開催するユニット会議や個人面談、管理者からの日々の声掛けによる個別相談で職員の意見や相談に応じています。職員からの意見で、食器の消毒方法の要望があり、早急に必要な物品を購入して実践に繋がった事例もあり、今も継続しています。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	育児している職員の為の勤務時間を設けています。法人内外研修に参加出来る様にアナウンスを行っています。	体調が悪い時には、休みが取れるシフト作りを心掛けています。育児をしている職員の配慮として、短い勤務ができる仕組みになっています。有給休暇取得を促進し、働きやすい環境を整備することで、職員の定着率にも繋がっています。	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内外研修に参加出来る様にアナウンスを行っています。	個々の該当する研修情報を伝え共有を行っています。法人規定により常勤者の条件として、必要な資格取得の声掛けを行っています。今年度は本人の努力により派遣社員から正社員になった職員もいます。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	外部研修を通じ他施設職員との情報交換を行い向上に心掛けています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご本人様と個別にお話しする時間を作り不安が少しでも和らぐ様に希望や求めている事等伺い安心して生活出来る環境作りを心掛けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご利用者様同様にご家族様にオープンな状態で話しやすい環境作りに心掛けています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	見極められるようアセスメント・往診記録・介護記録・実際の面談等踏まえて総合的な判断する様にしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	人生の先輩として色々な事を教えて頂きながら、ご利用者様の障害や不安要素を軽減出来る関係を築く様にしている。また、家事等は協力して頂いたりする等の対応を行っています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	月1回お手紙で日々の様子や変化、要望等を連絡・報告をしております。通院等が可能なご家族様には行って頂いています。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	新型コロナウイルスの影響の為、行えていません。	コロナ禍で外出が制限されていますが、移動パン屋や近隣住民の人たちと挨拶をすることで、地域との繋がりを守っています。友人とのラインのビデオ通話での対面なども行っています。家族とは外来受診時や外出もしています。馴染みの人や場との関係の継続もしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	お散歩やレクリエーション等関わりを持てる様に工夫しながら支援しています。また、団体行動が苦手な方にも職員が間に入り孤独にならない様支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	入院による契約終了時においてもご家族様の了承を得られた際にはお見舞いに行く等、関係継続に努めています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人様の言動・表情・行動等から意向や思いの把握に努めます。入居時にご家族様に本人様の生活史や元気だった頃の事を記入して頂きその中からご本人様の思いや意向を汲み取ります。	入居時に家族から本人の生活歴や入居前のことを聞き、本人の思いや意向を把握しています。本人との1対1で話す機会から把握した思いを出来るだけ記録に残すようにしています。それを職員間で共有しケアに反映させています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時にご家族様やご本人様から聞き取る様にしている。入居後は生活の中から出てくる習慣等を逃がさず把握する様に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の体調・精神的な変化の観察・その日に出来た事出来なかった事等を記録申し送りを行い状況把握に努めます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	職員で課題を話し合ったりご家族様の意見を基に介護計画を作成しています。	カンファレンスは、計画作成担当者、職員、医師、看護師が行っています。家族から、来訪時に聞いた意見も反映させています。長期目標は1年、短期目標は6ヶ月で作成しています。外出機会を増やすことに力を入れています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	毎日のバイタル・食事・水分摂取量、排泄状況の記録、生活等を個別日誌に記録し合わせて往診記録を申し送り確認し介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	原則、通院についてはご家族様に行っているが対応出来ない場合は職員が対応しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域小学校の子ども110番に登録しています。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	かかりつけ医と連携し、健康や相談を行っています。緊急時の対応や必要に応じて専門医の紹介受診支援も行っています。	かかりつけ医の往診が月2回～3回あります。訪問看護師が毎週来訪し健康管理を行っています。専門医受診については原則、家族対応ですが場合により受診支援をしています。運営母体の医療機関との連携により安心したケア体制となっています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週1回訪問看護が来訪し相談や助言・介護職員が行えないケアを行っている。また、24時間訪問看護ステーションと連携し、対応に応じて訪問依頼や相談等に対応しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した病院に連絡し状況把握やご家族様・訪問看護との連携・情報交換・退院後の対応に努めています。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期の在り方については、ご家族様と対応の確認を行い全職員とも共有しています。今年については1名お看取り致しました。	重度化した場合の行えること、行えないことについて、入居時に説明し同意書を交わしています。職員への看取り研修については動画を活用した研修を行っています。看取り実績もあります。家族へのグリーフケアについても行っています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時の連絡・連携については連絡網やマニュアルを作成し共有している。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回避難訓練を実施しています。また、年1回水害を想定した垂直避難も実施しています。	消防避難訓練を年2回行っています。洪水想定エリアになっているので水害想定垂直避難訓練を年1回行っています。水・食糧以外のガスコンロなども備蓄しています。地域との協力体制づくりについてはこれから検討していくところです。	水などの備蓄量を3日以上確保と、水害を想定し備蓄品の保管場所を見直すことが期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	言動や訴えに対して傾聴し、人格「やプライバシーを尊厳する対応に配慮しています。	個人情報についてはキャビネットに施錠保管しています。相手を尊重する気持ちを伝えるコミュニケーション技法のユマニチュードというケア技法を取り入れています。これにより利用者と同じ立場で人格を尊重したケアを行っています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	個々の生活習慣や生活等を尊重しながら思いや希望を表現出来る様な声掛け等を行い常に話しやすい環境作りをし、小さな事柄でもご本人様に決めて頂く様に心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	可能な限りご本人様の意見を尊重し柔軟な対応が出来る様に心掛けています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	月1回訪問理容を利用して頂いています。髪を染めたい方には職員がお手伝いします。その方の個性に合わせて支援しています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	声掛けによりご利用者様に副食の盛り付け等の準備や食後の下膳や行って頂いています。	自宅で使い慣れた食器を使用し、自宅と同様に食事を楽しめるようにしています。主食と味噌汁を自前調理し、副食は外部業者が提供するものを利用しています。父の日、母の日などにはケーキを食べることも楽しんでいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	1人1人の状態に合わせて主食についてはご飯やお粥、副食については常食や一口大・刻み、水分にトロミを入れる等、食形態を変え提供し、1日の食事量・水分摂取量を記録しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	個々の状況に合わせて支援しています。夕食後は義歯をはずして洗浄剤で洗浄しています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄リズムを把握し、声掛けにて誘導しています。必要な方には介助し、失禁を減らす支援を行っています。	排泄表により利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、それにより声掛け誘導をしてトイレでの自立排泄支援をしています。事業所のオムツ利用総量を把握して、安易なオムツ利用が無いように管理し自立排泄に取り組んでいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	食事・水分摂取・便秘日数の記で情報共有し、個々にあった方法（服薬・水分・食事・運動等）で予防に取り組んでいます。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	その日のご利用者様の希望・体調に合わせて柔軟に対応しています。また、好みの職員の介助を希望される場合は極力期待に応える様にしています。	週に2回の入浴を支援しています。好みのボディシャンプー、石鹸や入浴剤を持ち込み入浴を楽しんでいます。柚子湯などの季節を楽しむこともしています。入浴拒否者には入浴する時間や日を変えるなどの対応をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	日中に活動時間を多くして夜間安眠出来る様に心掛けています。体調を見て休息が必要と思われる方には夜間の睡眠に支障が無い様に休息時間を取って頂いています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬内容が確認出来るファイルを保管しています。服薬の変更があれば記録し周知しています。状況の変化があれば医師へ相談報告をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	家事の中でできる範囲内で役割を見つけ積極的に参加して頂いています。歌・貼り絵等の作品作り・お散歩を楽しく参加出来る環境作り、気分転換して頂いています。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	新型コロナウイルスの影響の為、スロープにある草木見る為に外に出ています。	晴天時にはほぼ毎日職員と一緒に散歩に出かけたり、おやつを買いに行くことをしていましたが自粛しています。コロナ禍の今は敷地内で外気浴を楽しむようにしています。事業所に来る移動パン屋での買物で社会性の維持をしています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	出来ていません。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご利用者様本人がご家族様に連絡する際に本人持ちの携帯を使用しています。電話をかけたいと訴えのある利用者様にはご家族様の状況に応じて電話出来る様にしています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居間に貼り絵や装飾品を展示し季節感を取り入れ居心地の良い共有空間を作っています。	利用者が自宅で使用していた家財などをリビングなどに置き出来るだけ生活感を出すようにしています。季節ごとに職員と利用者で作成した飾りを壁面に貼り季節感を楽しんでいます。リビング兼食堂に温度計と湿度計を設置し快適な環境となるように管理しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	テーブル席を中心に皆様が自由に集まっています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時にご自宅で使っていた家具や食器ご持参して頂く様にお伝えしています。また、ご利用者様使い慣れた日用品をお預かり金から購入したりご家族様にお持ち頂いています。	エアコン、ベッド、照明が備え付けとなっています。原状回復をすることで壁などの模様替えは可能です。使い慣れた家具などを持ち込み居心地が良いようにしています。居室担当者が本人と関わりを深めて、様子を毎月便りで家族へ知らせています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	お声掛けを行い食事準備や洗濯物たたみ等を行っています。		

事業所名	グループホーム渡田
ユニット名	2Fさくら

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="checkbox"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="checkbox"/> 1, 毎日ある <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> 3, たまにある <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="checkbox"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="checkbox"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="checkbox"/> 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	職員が理念転を念頭においてケアが出来る様にフロアに掲示しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	自治会に参加しているが新型コロナウイルス影響でイベントには参加出来ないが子ども110番登録しています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域住人と話す機会がある際に介護についての相談をのっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	新型コロナウイルスの為、2か月に1度議事録を町内会・民生委員・地域包括支援センターの職員・ご家族様に郵送し報告し質問等がある場合は連絡して頂く様に伝えています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	介護保険更新の際には介護保険担当者と連携を取り、生活保護者に関わる事については福祉事務所と連携を図っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	年1回自己点検シートを用いて確認しています。内ドアの施錠については全ご家族様には契約時に内ドアの施錠の同意書を頂いています。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	ユニット会議で職員内で情報交換をし再確認を行う。利用者同士の接し方等職員同士で声掛けし合っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	ご利用者様で成年後見人制度を利用している方がいらっしゃいます。今後に向けて情報提供を行ったり、研修で学んでいく予定です。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時・解約時共にご家族様と面談の上、漏れが無い様に十分な説明を行っています。疑問点はその場で出来る限り解決を図っていきます。その上で契約書への記入・拇印を行っています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に意見箱を設置したりご家族様が来訪時や電話でのご意見・ご要望を頂き真摯に耳を傾け、速やかに対応させて頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ユニット会議や場合によっては個別面談を実施し職員の意見や提案を聞く機会を設けています。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	育児している職員の為の勤務時間を設けています。法人内外研修に参加出来る様にアナウンスを行っています。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内外研修に参加出来る様にアナウンスを行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	外部研修を通じ他施設職員との情報交換を行い向上に心掛けています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご本人様と個別にお話しする時間を作り不安が少しでも和らぐ様に希望や求めている事等伺い安心して生活出来る環境作りを心掛けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご利用者様同様にご家族様にオープンな状態で話しやすい環境作りに心掛けています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	見極められるようアセスメント・往診記録・介護記録・実際の面談等踏まえて総合的な判断する様にしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	人生の先輩として色々な事を教えて頂きながら、ご利用者様の障害や不安要素を軽減出来る関係を築く様にしている。また、家事等は協力して頂いたりする等の対応を行っています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	月1回お手紙で日々の様子や変化、要望等を連絡・報告をしております。通院等が可能なご家族様には行って頂いています。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	新型コロナウイルスの影響の為、行えていません。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	レクリエーション等関わりを持てる様に工夫しながら支援しています。また、団体行動が苦手な方にも職員が間に入り孤独にならない様支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	入院による契約終了時においてもご家族様の了承を得られた際にはお見舞いに行く等、関係継続に努めています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人様の言動・表情・行動等から意向や思いの把握に努めます。入居時にご家族様に本人様の生活史や元気だった頃の事を記入して頂きその中からご本人様の思いや意向を汲み取ります。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時にご家族様やご本人様から聞き取る様にしている。入居後は生活の中から出てくる習慣等を逃がさず把握する様に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の体調・精神的な変化の観察・その日に出来た事出来なかった事等を記録申し送りを行い状況把握に努めます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	職員で課題を話し合ったりご家族様の意見を基に介護計画を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	毎日のバイタル・食事・水分摂取量、排泄状況の記録、生活等を個別日誌に記録し合わせて往診記録を申し送り確認し介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	原則、通院についてはご家族様に行っているが対応出来ない場合は職員が対応しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域小学校の子ども110番に登録しています。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	かかりつけ医と連携し、健康や相談を行っています。緊急時の対応や必要に応じて専門医の紹介受診支援も行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週1回訪問看護が来訪し相談や助言・介護職員が行えないケアを行っている。また、24時間訪問看護ステーションと連携し、対応に応じて訪問依頼や相談等に対応しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した病院に連絡し状況把握やご家族様・訪問看護との連携・情報交換・退院後の対応に努めています。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期の在り方については、ご家族様と対応の確認を行い全職員とも共有しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時の連絡・連携については連絡網やマニュアルを作成し共有している。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回避難訓練を実施しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	言動や訴えに対して傾聴し、人格やプライバシーを尊厳する対応に配慮しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	個々の生活習慣や生活等を尊重しながら思いや希望を表現出来る様な声掛け等を行い常に話しやすい環境作りをし、小さな事柄でもご本人様に決めて頂く様に心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	可能な限りご本人様の意見を尊重し柔軟な対応が出来る様に心掛けています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	月1回訪問理容を利用して頂いています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	不定期ではあるがオリジナル食を提供している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	1人1人の状態に合わせて主食についてはご飯やお粥、副食については常食や一口大・刻み、水分にトロミを入れる等、食形態を変え提供し、1日の食事量・水分摂取量を記録しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	個々の状況に合わせて支援しています。夕食後は義歯をはずして洗浄剤で洗浄しています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄リズムを把握し、声掛けにて誘導しています。必要な方には介助し、失禁を減らす支援を行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	食事・水分摂取・便秘日数の記で情報共有し、個々にあった方法（服薬・水分・食事・運動等）で予防に取り組んでいます。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	その日のご利用者様の希望・体調に合わせて柔軟に対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	日中に活動時間を多くして夜間安眠出来る様に心掛けています。体調を見て休息が必要と思われる方には夜間の睡眠に支障が無い様に休息時間を取って頂いています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬内容が確認出来るファイルを保管しています。服薬の変更があれば記録し周知しています。状況の変化があれば医師へ相談報告をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	家事の中でできる範囲内で役割を見つけ積極的に参加して頂いています。歌・貼り絵等の作品作り・お散歩を楽しく参加出来る環境作り、気分転換して頂いています。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	出来ていません。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	出来ていません。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話をかけたいと訴えのある利用者様にはご家族様の状況に応じて電話出来る様にしています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居間に装飾品を展示し季節感を取り入れ居心地の良い共有空間を作っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	テーブル席を中心に皆様が自由に集まっています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時にご自宅で使っていた家具や食器ご持参して頂く様にお伝えしています。また、ご利用者様使い慣れた日用品をお預かり金から購入したりご家族様にお持ち頂いています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	お声掛けを行い食事準備や洗濯物たたみ等を行っています。		

2021年度

事業所名 グループホーム渡田

作成日： 2022年 3月 22日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	16	水などの備蓄量を3日以上確保と、水害を想定し備蓄場所を見直しすることが期待されます。	水などの備蓄品3日以上分を確保する。また、水害を想定し備蓄場所を2Fにする	<ul style="list-style-type: none"> 現在の備蓄量を把握し、3日分に達していない備品については購入する。 保管場所の選定を行い、移動する。 	2ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月